

### 第3次清瀬市教育振興基本計画 第4回検討委員会 要旨

日時：令和8年2月9日（月）午後3時30分から午後4時45分まで

場所：清瀬市しあわせ未来センター セミナールーム

出席者：出席10名

配付資料 資料1：第3次清瀬市教育振興基本計画（パブリックコメント資料）

資料2：パブリックコメントへの回答（案）

参考資料：第3次教育振興基本計画・実行計画

#### 次第1 パブリックコメントの対応について

事務局から「資料1：第3次清瀬市教育振興基本計画（パブリックコメント資料）」及び「資料2：パブリックコメントへの回答（案）」の説明。5名から計22件のご意見があった。

##### 委員からの意見等

委員A 資料2の1番 不登校クラスについて、これは多摩地区でもいくつか採用が始まっている「不登校特例校」の類を指しているのか。

事務局 国が推奨している不登校のための「学びの多様化学校」を指していると思われ、東京都においては「チャレンジクラス」を設置している学校もある。本市では、校内別室指導やオンライン授業等、各学校で工夫をしたり、しあわせ未来センターにあるフレンドルームの充実を図っている。必要に応じて、今後、学びの多様化学校やチャレンジクラスを検討する必要がでてくる可能性はあると考えている。

委員B 資料2の6番 「確かな学力」の回答について、「確かな学力」＝「基礎学力」で、「さまざまな課題に対して自ら考え判断し、行動できる力」は「確かな学力」ではなく、「基礎学力」の副産物というのが私の解釈。そう考えると、パブコメの意見と変わらないのではないかと。「さまざまな課題に対して自ら考え判断し、行動できる力を育成するための学力」になるのではないかと感じた。

事務局 我々が考えているのは「確かな学力」＝「基礎学力」ではなくて、「基礎学力」とともに、方向性後半で示されている「さまざまな課題に対して自ら考え判断し、行動できる力」を含めて「確かな学力」と捉えている。したがって、パブコメの回答で「基礎学力の確実な定着」という文言が抜けてしまったことが、委員の認識している課題だと感じたので、その修正を検討したい。

委員長 この修正は文章の伝え方の問題なので、今日の検討会ではなく教育委員会事務局に検討をお願いしたい。

委員C 学力は3要素定義づけられているが、そのなかの「知識」だけを強調するというスタンスと捉えてよろしいか。

事務局 本当は3要素を伝えたいという思いがあって、方向性1「『確かな学

力』を育成します」の説明にもそれが現れるように、「基礎学力」のことを書き、「自ら考え」で主体性を表現し、「判断・行動」も記載したつもりであった。パブコメの回答をもう少し膨らませてそれをお伝えできないか検討する。

委員D 資料2の22番 回答について、「学校の管理下において状況に応じて開門時間を早めるなどの柔軟な対応を行ってきた」と書いてしまってよいものか。学校管理職からの指示は難しい話であり、どちらかというと学校の開門時間に合わせて家をでてもらう方向に進めるほうが、教員の働き方改革や学校のゆとりを考えると妥当ではないか。

事務局 当該意見のあった対象校については、今年度開門時間を早める対応が確認でき、現在の回答とした。しかし、この回答では誤解を招く可能性が考えられるので、今いただいた意見を踏まえて、改めて検討する。

委員E 計画案まで書き換えることはないと思うが、早朝の子供の居場所づくりは今後の課題。自治体によっては見守りを民間委託しているところもある。

委員F 資料2の20・21番 客観的な成果指標や効果検証レポート とあるが、これらを公開するということが良いか。

事務局 今回の基本計画の改定にあたり、事業の評価・検証方法について検討している。進行管理については、「実行計画」を向こう3年間の計画として、現行計画においても毎年度策定している。内容は外部評価委員に点検評価していただく仕組みをとっているが、いただいたご意見には、具体的な指標の設定の仕方や計画そのものの全体評価にも言及されており、現行の評価方法では不十分な面もあるので、新しい計画ではそれを踏まえて検討していきたい。

委員G 資料2の16番 柱2「地域による子どもの育ちと学びの支援」について、回答自体は特に違和感ないが、柱2の内容を考えるとPTAのことを言っている気がする。PTAはもともと社会教育を行う役割を担ってきて、地域のなかの学校の組織でもあり保護者の組織でもある。その内容も踏まえての回答でなくてもよいのか。

委員長 パブコメ意見の趣旨と回答の論点が合っているか、ということ。

事務局 委員からのご意見を踏まえて、16番、17番を一つながりの文として読み込み、こちらまとめて回答を検討したい。

委員H 資料2の9番 回答が「ご意見として承ります」だけだが、何か別の方法で質問の内容に触れているのか。

事務局 お示ししている計画では「豊かな人間性」を説明しているが、その文章についてのご意見ではなく、運用を進めていくときのご意見と解釈

した。委員からのご意見を踏まえ、現状の説明を加えるなど、回答を検討する。

委員 I 資料 2 の 1 2 番 学級定数・教員定数など、東京都の施策であることに触れずに回答しても問題ないか。

事務局 今後の要望と解釈したので現在の回答案としているが、委員からのご意見も踏まえて、回答を検討する。

委員 J パブコメで寄せられた意見全体を通じて、私たちが検討してきた基本計画が、学校現場を固定化したり、ラインや評価基準を示した「学校を締め付けるための計画」として捉えられている方がいるということを感じた。例えば、「柱」にかかっていることは、学校を締め付けるものではなく、方向性を示すもの。学校に「こうしなさい」というものではない。私たちもそれを意識して言葉を選んで検討を進め、そのなかで各学校の独自性のある取り組み事例も生まれている。それが伝わればよいと感じた。

委員長 公表するときに、それが伝わる工夫がされると良いかもしれない。

## 次第 2 清瀬市教育振興基本計画 実行計画の検討状況について

事務局から「参考資料：第 3 次教育振興基本計画・実行計画」の説明。

- ・新しい教育振興基本計画の基本理念、柱、方向性に基づいて、今後 3 年間で取組を検討している事業を記載。内容は現在も検討中のため、変更・追加はある。
- ・この検討委員会で扱う内容ではないため、参考資料として配付。

委員からの意見等

委員 A ○○委員会、○○研究会、○○研究指定校などであれば、誰が実行するか明確だが、例えば 5 頁「授業改善充実・・・校内研修の実施・改善」の主語が不明確。全校が対象ということなのか。7 頁「校外学習における体験活動・・・」は、小・中学校ともに、ということなのか。主語が明確に分かると良い。

事務局 校内研究については、これまでも全校で行われている授業改善を指しており、その内容含めて授業改善推進プラン見直しなどの進捗を教育指導課でも確認したい。宿泊検討委員会については清瀬市立学校を想定しており、対象とする小・中学校は検討委員会が決めることになるが、次年度は小学校で 2 泊 3 日の宿泊学習の初年度になるので、その検証が主なテーマになるだろうと想定している。

事務局 計画の点検評価について。本計画策定後に、改めて今回の PDCA サイクルの見直しをすることになるが、現行計画では教育委員会が毎年指定した事務事業から重点事業を選定し、その重点事業についてのみ評価を実施していた。そうなると、どうしても事業毎のミニマムな評価

に留まってしまうので、施策全体として見たときの事業効果まで行き届かない評価になっていた。この現行計画の反省点を踏まえ、新しい計画では、市の方向性を評価対象としていただけるように、実行計画そのものを評価する形になるよう検討を進めている。

### 次第3 その他

事務局 今後のスケジュールについて、本日議論いただいたご意見を踏まえてパブリックコメントに対する回答を修正し、花田委員長に検討委員会の意見に相違ないか確認の上、市民の皆さまに回答を公表することを考えている。

それと並行して、第3次教育振興基本計画の基本構想の答申も、内容を精査して花田委員長に確認の上、委員長から教育長へ答申するという流れを考えている。

委員長 答申については私に一任ということによろしいか。

(異議なし)

#### 【検討委員会最終回にあたって委員からのコメント（抜粋）】

- ・清瀬市全体の教育を知る機会になった。今後の学校経営に生かしたい。
- ・計画策定に携わったのは初めてで、市の作業プロセスを学ぶことができた。議論で学んだ知見もあり、自分が出席している会議で生かしたい。
- ・計画づくりと現場とのギャップを感じた。この委員会と他の部署と連携がとれているのか、こういった計画を現場で具体的に生かす仕組みができているのか気になった。今回の計画を現場に生かしてほしい。
- ・清瀬市の教育に教育委員会が真摯に向き合っていることが分かった。小学生の母親として感謝しており、信頼して学校に送り出せると感じた。
- ・教育サービスは、国がナショナルミニマム、シビルミニマムとして大枠を決めるので、我々がどこまでできるのかというところはあるが、教員の質や学校の組織力が、教育サービスを左右する原点だと思う。市民としては、教育の中身をよく知って、応援していかななくてはならない。教員が働きやすくて、自身にも教え子にも良い影響がでるような環境を用意することが、教育振興基本計画の目的と感じるので、今後も公表される進行評価などを通じて、清瀬市の教育を見守りたい。
- ・第2次計画策定では保護者代表として参画した。当時は関連知識があまりなく、役に立っているのか不安だったが、当時同じく参加されていた校長先生からは「自身の立場で思ったことを言えばよい」という言葉をかけてもらい、肩の力を抜いて出席できた覚えがある。今回の会議では、委員長が一つ一つ丁寧に、確認しながら議論を進めていただけたことが良かった。また、検討委員会の考えもパブコメでいただいた考えも、それぞれに熱い思いを感じ取ることができた。
- ・自分が住んでいる清瀬市で、教育に関わる会議に参加できたことが嬉しい。自分は学校運営協議会で活動しており、この計画で言う柱1・2に関わることになる。良い事例が作れるように頑張りたい。

以上